

北海道新聞社

2020年9月24日

代表取締役社長 広瀬 兼三 様

## 北海道新聞の購読料値上げに対する意見書

一般社団法人 北海道消費者協会

会長 島山 京子



貴社は、創刊78年の伝統と朝刊90万部の道内最大部数を有する北海道新聞を発行し、長く道民に親しまれてきました。紙面を通じ、道内外の事象を幅広く伝え、道民世論の形成に大いに寄与してきたところです。その姿勢は、常に道民とともに歩むところにあると信じております。

新型コロナウイルスの感染拡大により、経済は停滞し、今年4～6月期のGDPは年率換算マイナス28.1%と戦後最悪と言われる状況です。多くの道民は家計に苦しんでいます。その最中に貴社は、朝夕刊の月ぎめ購読料を10月から、現行の税込み4037円を4400円へと9%値上げをする告知をしました。

消費税率引き上げに伴う値上げを除くと1994年6月以来のことで、26年間、価格を実質的に据え置いてきたことは評価できるとしても、多くの道民が新型コロナの大波に苦しむこの時期に値上げに踏み切ることは、道民の信頼を損ないかねず、誠に残念なことです。

道内最大部数の北海道新聞は、当然ながら道民への責任は重く、値上げに際しては、道民の理解と共感を得ることが欠かせないでしょう。分かりやすい計数的裏付けを含めて、①値上げの説明責任を果たす②経営努力を明らかにする③道民との絆を強める一層の良質な情報発信に努める—ことを強く求めます。

以上